お手入れについて

注意 **器具の手入れの際は、安全のため必ず本体のスイッチを切った状態で行ってください。通電したまま行うと感電事故の原因となります。**

- ●明るく安全に使用していただくために、6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所では、年に4回程度の清掃が目安です。
- ●消灯直後は器具やランプが熱いので、十分に温度が下がってから行ってください。やけどの原因となります。
- ●器具の汚れは乾いた柔らかい布か、薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
- ●シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- ●薄めた中性洗剤を使用した場合、空拭きを行い、洗剤や水分が残らないように、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

保証書

持込修理　無料修理規程

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
   - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障および損傷
   - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛かり等による故障および損傷
   - (ニ)消耗または摩耗した部品、附属品の交換
   - (ホ)本書のご提示がない場合
   - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合あるいは文字を書きかえられた場合
     (但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります。)
   - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   - (チ)一般家庭用以外(例：業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

商品名 多目的灯＜屋内専用＞	★お買い上げ日：　年　月　日 保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
50Hzタイプ/　型番：LT−FM1550　品番：06−0355 60Hzタイプ/　型番：LT−FM1560　品番：06−0358	
お客様	★お名前　様
	★ご住所　〒　− 電話　(　)
修理メモ	
販売店	★住所　店名　電話 印

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

OHM 株式会社オーム電機
〒342−8502 埼玉県吉川市旭3−8
http://www.ohm-electric.co.jp

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048−992−3970 平日9:00〜17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室へ
●通話無料 0120−963−006　●携帯・IP・公衆電話からは 048−992−2735
電話受付　平日 9:00〜17:30　土曜 9:00〜17:00 ※土・日・祝日及び年末年始は除きます

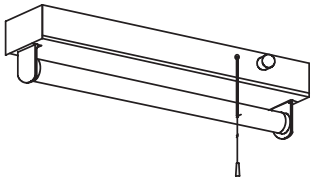
取扱説明書

保証書付　保管用

多目的灯＜屋内専用＞

■50Hzタイプ　型番：LT−FM1550　品番：06−0355
■60Hzタイプ　型番：LT−FM1560　品番：06−0358

お客様へ　このたびは、当製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。



以下の場合は必ず、販売店、工事店に取付けをご依頼ください。
●電気工事の知識のない方。　●電源線がより線の場合。
●新規に電源線を施設する場合、既設電源線を加工する場合。
(電気工事士の資格が必要)

安全上のご注意　必ずお守りください

警　告　死亡や重症を負う恐れがある内容です。

厳守	**器具の取付けは、説明書に従い確実に行う。** →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるケガの原因になります。
禁止	**埋め込みボックスに取付ける場合は、金属製のものを使用する。** →樹脂製ボックスの場合、器具の熱により樹脂の劣化が促進され、火災・落下によるケガの原因になります。
	器具のすき間や放熱穴などに金属類を差込まない。→感電・故障の原因になります。
	器具やランプを布や紙などで覆って使用しない。→火災の原因になります。
	器具を改造・分解しない。部品交換をしない。→火災・感電・落下によるケガの原因になります。
	ぬれた手でコンセントに触らない。(AC電源コード使用の場合)→感電の恐れがあります。
厳守	**異常を感じた場合、速やかに電源を切る。** →放置しますと火災・落下によるケガの原因になります。販売店またはお客様相談室にご相談ください。

注　意　軽症または家具、家財などの損害が発生する恐れがある内容です。

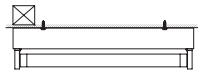
接触禁止	**点灯中や消灯直後は、器具やランプが高温となるため触らない。**→やけどの原因になります。
水ぬれ禁止	**この器具は防水ではありません。湿気の多い場所や屋外では使用しない。**→火災・感電の原因になります。
禁止	**ライトコントローラーなどの調光器との併用はしない。** →火災の原因になります。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
	周囲温度 5〜35℃、湿度 85%を超える環境では使用しない。→火災・感電の原因になります。
	ガス器具など、温度が高くなるものの上部への取付けやストーブなどの高温になるものを近くに置かない。 **また、燃えやすいものを近づけて使用しない。** →火災・故障の原因になります。
厳守	**電源電圧は、AC100V以外の電源では使用しない。**→火災・感電の原因になります。
	お手入れの際は、電源を切る。→通電状態で行うと感電の原因となることがあります。
	電源周波数50ヘルツ(Hz)または60ヘルツ(Hz)専用の区別があります。 **ご使用地域の電源周波数に適合した専用品を使用してください。**→火災の原因になります。

施工前のご確認事項

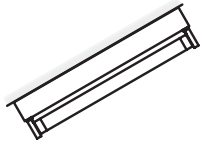
取付け面について

禁止

1.下記のような場所では取付けない。この器具は壁・天井取付け両用器具です。
傾斜天井には取付けできません。不安定な場所や、薄いベニヤ板や石こうボード単体などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。
→器具の落下によるケガの原因になります。


補強のない薄い場所

不安定な場所


傾斜した場所

2.器具の重量に耐えられるように取付け部の強度を確認してください。

厳守

メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの木造の造営材に器具を取付ける場合は、器具の金属部と絶縁をとる。
木ネジ、器具の取付板等とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。
守らないと、漏電した場合に火災の恐れがあります。

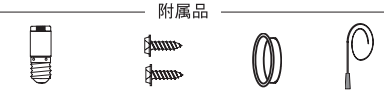
附属部品について

附属部品の確認

※附属は本体内に収納してあります。

①附属の電子点灯管、木ネジ(2本)、ブッシング、ヒキひもがあることを確認してください。
②部品の有無・破損を確認し、不備の際は取付けないでください。

附属品

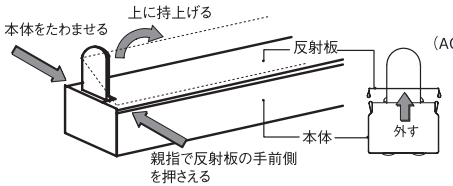


□電子点灯管　□木ネジ(2本)　□ブッシング　□ヒキひも

各部の名称と取付け方

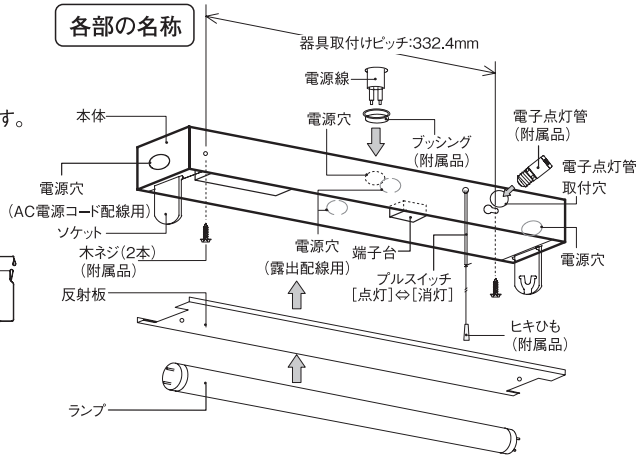
取付け前の準備

①ランプの両端を持ち、90度回してランプを外す。
②反射板を外す。
・反射板を両手で持ち、本体をたわませながら外す。



③附属品を取出す。

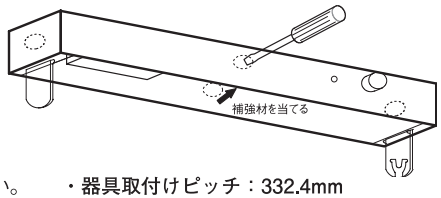
各部の名称



取付け方

1 電源穴にブッシングをはめる

・電源線を露出配線する場合は、電源穴(露出配線用／右図上)をドライバー等で打ち抜いて外してください。
※一度外すと、元に戻りませんので注意ください。



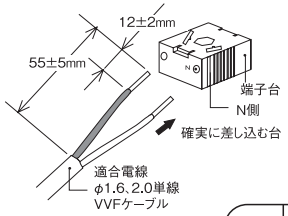
2 附属の木ネジ(2本)で本体を取付ける

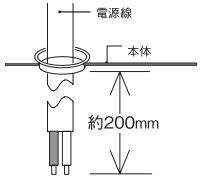
・補強材のある場所に附属の木ネジ(2本)で取付けてください。　・器具取付けピッチ：332.4mm
・電源電線が天井穴等から引き出されている場合は、必ずブレーカー等を切って電源を落としてから電源穴の位置を合わせ、ブッシングを通した後で取付けてください。

3 端子台に電源線を接続する

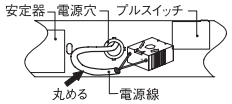
電源線の加工・接続

・本体内部に約200mm引き入れる。
・先端を下図のように加工する。





・電源線を丸め、端子台に差し込む。



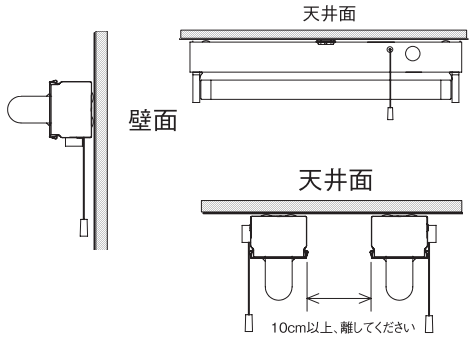
厳守

電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

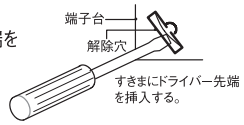
器具の取付けかた

・複数取付ける場合は10cm以上離してください。

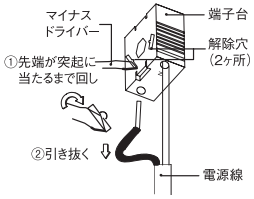


電源線の外しかた

・マイナスドライバー等の先端を解除穴に差し込む。



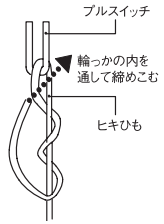
・突起部に当たるまで回しながら片方ずつ引き抜く



AC電源コードの配線

・別途購入のAC電源コード(商品番号:06-0360)を使用する場合は、別紙「AC電源コードの配線のしかた」にしたがって電源線と同様の方法で端子台と接続し、電源コードがつぶれないように器具から引き出してください。

ヒキひもの結び方(例)



4 本体に反射板、ランプ、電子点灯管を取付ける

・ランプはランプピンをソケットに差し込み90度回す。
・電子点灯管を側面の電子点灯管取付穴を通して内部のソケットに確実に取付ける。
・ヒキひもを結ぶ。
・プルスイッチによりランプが点灯⇔消灯することを確認する。

ご使用に関するお知らせ　故障や異常ではありません

●周囲の温度が低いと、蛍光灯が明るくなるまで時間がかかったり、温まるまでちらつくことがあります。

製品仕様

使用電源	AC100V　50(60)Hz	外形寸法	幅464×高さ80×奥行53mm
消費電力	19W	本体質量	700g
適用ランプ	FL15	附属品	・電子点灯管　・木ネジ(15mm×2本)
適用点灯管	FE-1E		・ブッシング　・ヒキひも(長さ 約54cm)